



くらぶち草の会
前会長 佐藤 茂さん

高崎市倉淵町の生産者団体で、農業や化学肥料に頼らない野菜作りに取り組む約40の農家が加盟。研修制度や住環境などが充実しており、県内外からの多くの移住者が集まる。

地域と農業が結ぶ 人と人 新規就農者の育成に力を入れている「くらぶち草の会」の皆さんを紹介します。

私は昭和60年に両親から農業を継ぎました。継いだ当初はほとんど収益にならず、県内外にチラシ1万枚を自ら配り宣伝する中で、有機栽培があることを知りました。農業を使わない栽培方法は難しく、手間がかかります。害虫を防ぐため種まきのタイミングをずらしたり、病気を防ぐため土壌を改良したり、この土地に合った技術や農法を見つけるために試行錯誤してきました。

次第に経営が安定してくると、周りの遊休農地の多さに寂しさを感じ始めました。「誰か倉淵で農業をやってくれる人がいれば…」と思うようになり、就農者を募ったところ、倉淵の魅力が人を呼び、県内外から多くの人に来てくれました。多くの就農者と向き合う中で、大変なこともありま

したが、私は人が好きなのでここまで来られました。人は誰一人同じでなく、自分とは違う面を持っており、勉強になります。また新規就農者が独り立ちし、農地や家庭を持ったり、PTAや地域の伝統行事で活躍



景観の良さも倉淵の魅力

してくれたりするのが何よりうれしいですね。農業は手間をかければ応えてくれるし、いい加減にやればそれなりにになってしまうため、丹精込めて作っています。皆さんにはその手間と苦勞を知ってもらい、生産者の愛情が詰まった群馬の野菜をたくさん食べてほしいですね。

倉淵地域の温かさに惹かれて

移住・就農の決め手は人柄

倉淵の皆さんの人柄に惹かれ、移住して25年。当時はまだ移住者が少なく受け入れが大変な中、温かく迎え入れてくれました。

くらぶち草の会では就農者に、技術面だけでなく生活面でも支援してきました。その温かさを引き継ぎつつ、新しい野菜栽培に挑戦する人や学校給食への支援にもより力を入れていきたいですね。

悩んだらすぐに聞ける環境がある

受け入れ体制の充実と地域の皆さんの人柄に惹かれ移住・就農しました。技術面や生活面で悩みがあっても、先輩農家にすぐに聞ける環境が用意されており、地域の皆さんも私たちを自分の家族のように大切にしてくれます。

これまで倉淵で試行錯誤されつつ、この環境をつくってくれた先輩方の思いを継いで、将来はこの地域の農業を支えていきたいです。



くらぶち草の会
会長 和田裕之さん

平成9年に倉淵に移住、2年前に会長を引き継ぐ。以前は食品流通会社に勤務。生産者への尊敬と憧れがあり、就農を決意。



くらぶち草の会
下野 洸貴・実紗妃さん

農業や造園を学び都内から5年前に移住した洸貴さんと青年海外協力隊としてエクアドルで農業支援に従事し、1年前に移住した実紗妃さん。

活躍中!

就農方法は3つ! 県が誇る出荷量全国1位の野菜に関わる生産者をご紹介します。

● 親元就農 ●

「両親から農業を継ぎました。ハウレンソウ栽培は私で2代目です。父から基礎知識を学べるのが強みです。自分の代で、JGAP認証を取得しました。ハウレンソウの出荷量日本一はとてうれしいです。出荷量も味も、より差を付けていくために日々奮闘中です。」



就農7年目
清水 至さん(太田市)

※第三者機関の審査により食の安全や環境保全への取り組みが確認された農場に与えられる認証



ハウレンソウ
初の1位!

● 新規参入 ●

先輩農家の下で研修・経験を重ね、その後独立自営する就農方法。「私は青年海外協力隊の農業研修先が甘楽町でした。地域の皆さんの人柄に惹かれ、宮城県から移住しました。自分の力で一から農業を始めるために新規参入を選びました。ナスは初期投資が比較的少なく、新規就農者も始めやすいです。出荷は6月から11月までと、作業に関わる時間が長いので愛情が湧きます。今年のナスもお楽しみに!」



就農13年目
高野一馬さん(甘楽町)



夏秋ナス
5年連続1位!

● 雇用就農 ●

農業法人などに従業員として就職する方法。生活を安定させつつ、就農したいと考える人の多くがこの方法を選んでいきます。「種まきから収穫まで担当しています。働きやすい環境なので、子育てをしながらでも大好きな農業を続けられています。孀恋の甘くおいしいキャベツは自慢です。これからも日本一の夏秋キャベツの生産を支えていきたいです。」



就農5年目 黒岩農事
大畑ゆいさん(孀恋村)



夏秋キャベツ
51年連続1位!

全国順位...2020年産 農林水産省 野菜生産出荷統計調べ(出荷量)



ここで食べ ここで買って 地産地消 県産農畜産物を買って食べてみませんか



群馬の農畜産物をおいしく食べよう

ぐんま地産地消推進店

県産農畜産物を販売したり、積極的にメニューなどに取り入れられたり、地産地消に取り組んでいる小売店や飲食店などを県が認定しています。

店舗の詳細はこちら



産地直送サイトで購入

県はインターネット産地直送サイトの「食べチョク」や「ポケットマルシェ」と連携して、特設ページを開設。生産者から直接届く新鮮な県産農畜産物を楽しんでみませんか。

特設サイトはこちら
(ぐんまアグリネット)



野菜オイシクイズ

丸くて赤い、リコピンが豊富な野菜といえば?



ツルノス プラス
正解は、tsulunus PLUS
4ページ「ぐんまちゃんのおでかけキッチン」をチェック!



問い合わせ先

新規就農について...県庁農業構造政策課 ☎027-226-3064

栽培技術について...県庁技術支援課 ☎027-226-3068

地産地消について...県庁ぐんまブランド推進課 ☎027-226-3129